

令和4年度第25回市政懇談会 会議録（要旨）

テーマ：地域が抱える問題について

【日 時】 令和5年2月2日（木） 18時20分 ～ 19時35分
【場 所】 恩田ふれあいセンター
【出席者】 ○篠崎市長 恩田地域づくり協議会会長 : 真宅 宣昭 恩田地区母子保健推進員会会長 : 石川 悦子 恩田地区民生児童委員協議会会長 : 山根 和人 恩田地区おんだ翼会会長 : 伊藤 光義 恩田地区子ども会育成連絡協議会会長 : 五十崎 良 恩田地域づくり協議会会長選任理事 : 飯田 勇治 ○総合政策部 ○事務局（広報広聴課、恩田ふれあいセンター、地域支援員）
【概 要】 1 開会 2 出席者紹介 3 参加者と市長との意見交換 4 閉会
【意見交換・懇談】 ○地域主催の運動イベントへの参加促進について 【地域づくり協議会会長】 ・恩田地区は、山口宇部空港の大型遊具施設と恩田スポーツパークが新しく整備されるので、地区としても、ぜひこれらを活用し、新しい行事を実施したい。 ・今後は、恩田地区以外の方も楽しめる新たなスポーツ大会が開催できればと思っているので、市にご協力をお願いしたい。 【市長】 ・保健師と健康アンバサダーの協力を得て、健康づくりという視点から情報発信に努めたい。 ・学校を活用し、保護者等の若い世代に情報発信をすることも効果的である。 ・恩田スポーツパーク構想において、俵田体育館等をリニューアルするので、地域づくり協議会と連携し、いろいろなイベント等を実施したい。 ・ボッチャで活躍する宇部市出身の内田選手は、パラリンピックの聖火ランナーを務め、昨年12月の世界選手権で優勝し、日本選手権も2連覇を成し遂げた。彼の出身地である宇部市で、令和5年度にボッチャの市民大会を実施したいと考えている。障害の有無にかかわらず、ボッチャを通じて共生社会を実現するために市としても取り組む

ので、地区の皆様のご参加、ご協力をお願いしたい。

- ・山口宇部空港公園側に整備するインクルーシブ遊具については、障害を持つ子どもの保護者から、気兼ねなく遊べるという声をいただいている。

○学校を核とした地域づくりと新たな学童施設建設について

【母子保健推進員会会長】

- ・先生は多忙で休日勤務は負担であると認識しており、先生も保護者も地域にとって大事な人であると思っている。対立や要求し合うというのではなく、お互い無理のないようにしたい。
- ・学校施設の有効利用という観点から、お互いに信頼関係を築いて、地域の宝である子ども達を中心とした地域づくりを進めたい。

【市長】

- ・「学校を地域に開くということ」は、学校として、子ども達の安全確保など施設管理面の責任がある。また、学校を地域に開くためには、学校と地域の役割を明確にする必要がある。一方で、行財政改革の観点からは、学校施設をいかに有効活用するかという課題もある。
- ・鵜の島小学校で導入している ICT システムでは、体育館の使用について鍵の受け渡しが必要である。今後は、このような仕組みの活用も検討し、学校施設を地域にオープンにしていきたい。
- ・学童保育施設については、恩田地区は学童の登録者数が増加してきているので、令和5年度から軽費老人ホーム好生園の作業棟を教室として借用予定である。
- ・新たな学童保育施設の建設については、送迎の問題、子供たちの安全確保などを考慮しながら、令和6年度から建設場所等についてしっかり検討していく。

○学童の通学路について

【民生児童委員協議会会長】

- ・恩田地区は、新旧の住宅が入り混じっている。一番危険を感じるのが、ケンタッキーからマックスバリューに向かう道路だ。緑の線（グリーンベルト）は引いてあるが、交通量が多く、通学する子ども達だけでなく、高齢者の方からも危険であると指摘されている。
- ・則貞から高専グラウンドへ行く道路や、常盤中学校へ上がる道路も狭く危険である。交通事故は発生していないが、安全確保についての対応をお願いしたい。

【市長】

- ・通学路については、安全づくり連絡協議会が毎年、通学路の危険箇所等を確認している。点検結果は、地域安全づくり事業マップに反映し、小学校に配付している。
- ・通学路安全対策合同会議において、通学路の危険箇所について、合同点検を行い、安

全対策に取り組んでいる。危険個所があれば、ご連絡いただきたい。

- ・ご指摘の個所は確かに危険であると認識しており、マックスバリューからケンタッキーまでの道路は、拡幅は困難であるので、緑の線を引き、安全対策を実施してきた。今後、境界を確認の上、整備を検討し、歩行者の安全確保に努めていく。
- ・則貞から高専グラウンドへ行く道路についても、できる限り整備をしたい。
- ・常盤中学校の付近も危険であると認識しているが、拡幅は難しい状況である。清水川交差点のユニクロの所に右折レーンを設置し、渋滞解消に努めたい。いずれにしても、できる限りの安全確保に努めていく。

○山口宇部空港西側周辺の美化について

【おんだ翼会長】

- ・空港線の丸喜から亀浦側は、来宇される方の表玄関口としてふさわしく、きれいに保たれているが、岬漁港方面の公園側は不法投棄が多い。
- ・公園に街灯が設置されているが、木が生い茂り、街灯が通り等まで届かず暗い状況で、防犯上問題がある。自治会が入り組んだ地域で、地元での対応が難しい。不法投棄の温床となっており、対応をお願いしたい。

【市長】

- ・山口宇部空港を所管する山口県に対し、不法投棄の撤去と維持管理等のお願いをしたところである。本日、空港職員にてごみ拾いを実施され、「不法投棄防止看板」も設置されている。
- ・県からは、管理上のパトロールは実施していたが、今後はごみのポイ捨てについても対応したいとの報告を受けている。
- ・街灯があると、犯罪の未然防止になる。防犯灯設置助成制度は地元負担をお願いしており、今後、市民環境部と地域で調整させていただく。
- ・来年度から、防犯カメラ設置助成制度の実施を予定しているので、これを活用していただくことも可能である。

○いつまでも学べる環境の充実（図書館機能の充実）について

【子ども育成連絡協議会会長】

- ・学びたくても学べない子ども達がたくさんいる。学ぶ場を地域でどれだけ作っていけるかが重要である。
- ・保護者が忙しく子どもに手がかけられない状況の中で、子ども達はテレビを見たり、ゲームをしたりと受動的な状況にある。本等の活字を見ながら、考えて行動する子ども達の育成を目指していきたい。
- ・図書館の本をいつでも借りられ返却できるシステムの構築や、学童保育施設等で子ども達がいつでも本に触れ合う環境を作りたい。

【市長】

- ・市立図書館は、開館以来 30 年が経過し、現在、リニューアル基本計画の策定に取り組んでいるところである。来年度基本設計を行い、令和 8 年竣工予定である。
- ・令和 2 年 12 月から電子図書館を導入しており、図書館に来なくても、インターネットを活用し、図書館が利用できるシステムを導入している。
- ・現在、まちかどブックコーナーとして、いろいろな本をスーパー等に設置しているが、郵便局にもぜひまちかどブックコーナーを設置させていただきたい
- ・他都市では、本を設置し、コミュニティーの拠点づくりに活用するという流れもある。中心市街地の活性化にも、ぜひ活用したい。

○青少年団体への助成について

【地域づくり協議会会長選任理事】

- ・恩田地区は、地域活動に高校生などが積極的に参加しており、ジュニアリーダーは約 30 人いる。このたび青年リーダーも誕生した。
- ・ジュニアリーダーにもっと学びの場を提供したいが、予算的な問題がある。

【市長】

- ・地域で策定されている「地域計画」にその内容を盛り込んでいただければ、地域創生事業助成金の対象とすることができる。
- ・また、ジュニアリーダーの活動が、子ども会活動として行われている場合は、市子連へご相談いただきたい。市子連から市に相談等があれば、各地区の状況や地区子連の要望を踏まえ、宇部市子ども会育成連絡協議会助成金の増額等の必要性を含め検討していく。